

市町村名	伊平屋村									
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	1-①		商工観光産業支援事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	観光交通課		事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	伊平屋村の持続的な観光振興を図るため、伊平屋島観光協会へ支援(観光誘客プロモーション、観光情報発信、民泊受入支援、商工業と観光業の連携強化等)を行う。									
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)									
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
			(a)当初予算額	17,192	16,804	15,832	22,382	16,594		
			(b)予算現額	17,192	18,804	15,832	22,382	16,594		
			(c)増減額(b-a)	0	2,000	0	0	0		
			(d)繰越額							
			A. 計(b+d)	17,192	18,804	15,832	22,382	16,594		
			B. 執行済額	17,192	17,799	15,582	19,236	16,594		
			うち交付金充当額	13,753	11,839	12,465	15,389	13,275		
			次年度繰越額							
			執行率(%) (B/A)	100.0%	94.7%	98.4%	85.9%	100.0%		
		予算の状況の説明	当初の計画通りに事業を執行したため、過不足及び不用品は発生していない。							
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況						
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	1団体約200名規模の大型の修学旅行を誘致すべく、参画民家50軒を維持できるよう地域(各戸別訪問)を継続的に実施			目 標	(50軒)	(50軒)	(50軒)	(50軒)		
				実 績	43軒	45軒	53軒	46軒		
	年間受入観光客数延べ800人以上の受入を目指し他県でのPR活動を実施			目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
				実 績	実施済	実施済	実施済	実施済		
	達成状況説明	・高齢化等により受入民家の確保に苦慮している状況である。また、民家の家主が帰村したことにより、受入することができなくなったことも影響している。 ・他県PR活動については、修学旅行フェアや相談会等に参加しPR活動を行った。								
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)				基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	民泊利用者数 1,107人以上			目 標	()	(4,987人以上)	(4,431人以上)	(1,107人以上)	()	
				実 績		383人	1,252人	2,078人		
				目 標	()	()	()	()	()	
				実 績						
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症が終息したことにより、今年度の修学旅行受入は18校となったため、目標値を達成することができた。今後も新たな観光パンフレット及びポスターの制作等を行い、本村の魅力的な観光資源を村内外へアピールしていく。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	高齢化等による受入民家の確保に苦慮しているため、今後修学旅行及び離島体験学習の受入減少が予想される。	行政、観光協会、民泊事業者等が連携を図り、観光パンフレット及びポスター等を活用し、積極的に島外へのPRを行い、受入事前準備や態勢強化を推進する。
今後の取り組み方針		
- 引き続き、受け入れ民家の掘り起こし及びサポートを行い、民泊事業の本格再開へ備える。 - 新たに制作した観光パンフレット及びポスターを活用し、村内外へのPRを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		18,437	16,594	

伊平屋村
16,594千円

→

補助金
16,594千円

→

(一社)伊平屋島観光協会
16,594千円

(観光誘客プロモーション
観光情報発信
人材育成事業)

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助金については、観光に資する団体であるため、事業内容と一致し、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は、事業完了後に検査を実施し、事業内容に資する規模と判断したため妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者との負担関係は、補助金以外にも予算を充当しており、妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、事業目的達成の観点から必要性等について書類の検査を行い、適正と判断した。

市町村名	伊平屋村						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	観光地イメージアップ推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－(2)－ア		
担当部課名	建設課	事業実施 （予定）年度	平成24年 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進		
事業内容	観光スポットに向かうアクセス道路や公園などの多くの人が利用する公共施設等の除草や伐木、海岸の漂着ゴミの収集を行い魅力的な観光地づくりの推進を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,888	22,383	29,318	32,390	29,318
		(b) 予算現額	10,898	26,219	29,318	32,390	29,318
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,990	3,836	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	10,898	26,219	29,318	32,390	29,318
	B. 執行済額		10,671	23,400	29,318	28,499	29,318
	うち交付金充当額		8,537	18,720	23,454	22,799	23,454
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率（％）(B/A)		97.9%	89.2%	100.0%	88.0%	100.0%
予算の状況の説明		年度途中での最低賃金の改定、作業車両の故障等に伴い、当初予算での執行が困難となったことで、村単独予算による補正を行い執行することができた。 悪天候の影響により、増額した分の執行を行うことができなかったが、終了時に精算を行った。					
活動目標（指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	観光ルート等の雑草の除去および清掃作業を実施する。 ・アクセス道路：10路線 ・観光地：15カ所	目 標	(10路線 15箇所)	(10路線 15箇所)	(10路線 15箇所)	(10路線 15箇所)	
		実 績	11路線 7箇所	11路線 7箇所	11路線 10箇所	10路線 14箇所	
	草刈機等のメンテナンス強化	目 標	(作業後の メンテナンス実施)	(作業後の メンテナンス実施)	(作業後の メンテナンス実施)	(作業後の メンテナンス実施)	
実 績		作業後の メンテナンス実施済	作業後の メンテナンス実施済	作業後の メンテナンス実施済	作業後の メンテナンス実施済		
達成状況説明	・外部委託を実施した他、多発した作業車両の故障についても、リースや受託者の所有する車両を活用することで、臨機応変に対応し、効率よく作業を実施できた。 ・(アクセス道路)県道田名野甫線、村道アグチャー線、クマヤー線、アツチャビシ線、アサ線、田名西線、島尻西線、野甫線、我喜屋ダム線、村道灯台線の10路線の美化作業を実施。 ・(観光地)伊平屋灯台、クマヤー海岸、潮下浜、念頭平松公園、とらず岩、林道、片隈神社、我喜屋ダム、屋蔵墓、上ノ川公園、米崎海浜公園周囲、野甫展望台、ヤヘー岩、無蔵水の14カ所の美化作業実施。 ※集落が定期的美化により協議した結果、1箇所減とした。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （ 年度）
	アンケート調査により、観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じる回答80%以上	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		80%	80%	80%	
	【参考指標】 観光アクセス道路の美化清掃：29.5km 観光関連施設の美化作業：18カ所	目 標	()	(29.5km 18カ所)	(29.5km 18カ所)	(29.5km 18カ所)	()
		実 績		51.6km 18カ所	51.6km 21カ所	51.6km 24カ所	
進捗状況説明	・大型連休前に集中的に海浜清掃、観光地の除草を行うことで効果的な作業ができ、アンケートにより96名（120名中）の好評価を得た。 ・人員の確保が困難との声があったが、日雇いなどで作業員の雇用に対応し、当初予定箇所の美化作業を進めることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・効果的に作業を行うため、作業員の確保に努める。 ・時期や現状を把握し、効率的に作業箇所を選定を行っているが、作業員の確保困難時期が重なり、4月～6月気象状況による梅雨時期では雑草の繁茂が早くなるため、各区の区長や観光関連事業との協議が必要となる。	・通年の課題である、作業員の確保を継続して行く必要がある。 ・観光地になっている公園所在の集落と協議を行い、集落での定期的な作業を行っていただくよう調整する必要がある。
今後の取り組み方針		
効果的な作業と作業員の確保に努めるため、日雇いや時間雇用も含めた作業員の確保を行い、観光地所在集落および観光関連事業者等と調整し、イベント・行事時期は入域観光客数も増加するため、観光地イメージアップを図る上で集落でも作業を行ってもらえるよう協議していく。また、入域観光客数の満足度向上のため、優先的な作業箇所を選定を協議し推進していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,159	29,318	23,454	5,864	1,841

伊平屋村

29,318千円

委託料
29,318千円

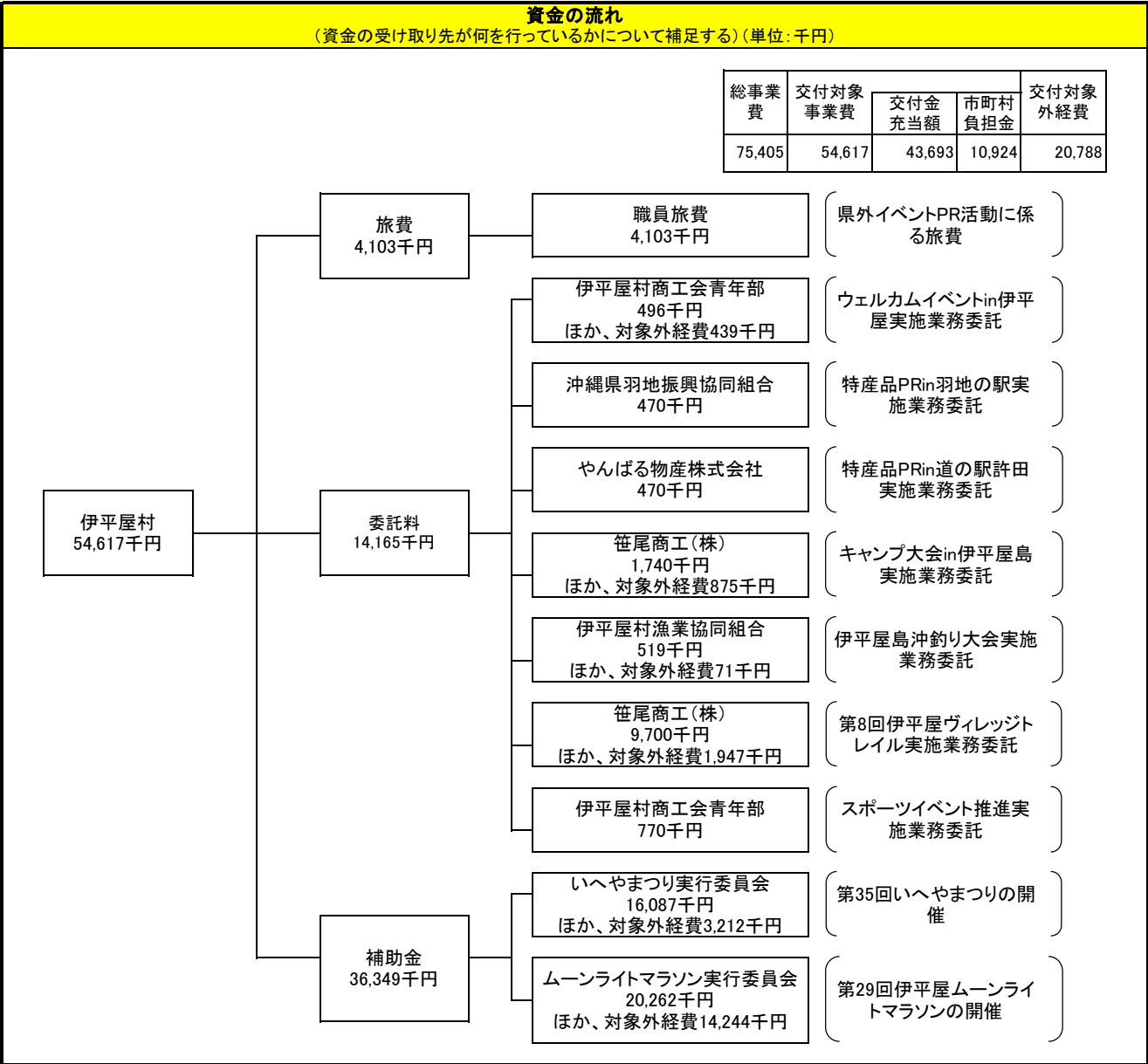
伊平屋村建設業協会
(代表執行者:(有)心優開発)
29,318千円
対象外経費:1,841千円

除草等作業
海浜清掃

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村内の団体へ公募を行い、選定をしているため妥当である ○予算規模については、事業内容に見合うものとする。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要性等について実績報告において書類の検査を行い、適正と判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村									
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	1-③		誘客イベント推進事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	観光交通課		事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容		本村を訪れる観光客の満足度向上を図るため、村内外においてイベントの開催支援等を行い、入域観光客の増を図る。								
効果発現年度		■当年度 □後年度(年度)								
実施方法		□直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()								
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
		予算 の 状 況	(a)当初予算額	41,477	39,900	41,094	41,254	46,700		
			(b)予算現額	40,957	9,250	6,150	25,304	66,562		
			(c)増減額(b-a)	▲520	▲30,650	▲34,944	▲15,950	19,862		
			(d)繰越額	0	0	0	0	0		
			A.計(b+d)	40,957	9,250	6,150	25,304	66,562		
		B.執行済額		40808	9127	6007	25,304	54,617		
		うち交付金充当額		32646	7301	4805	20,243	43,693		
		次年度繰越額		0	0	0	0	0		
		執行率(%) (B/A)		99.6%	98.7%	97.7%	100.0%	82.1%		
予算の状況の説明		イベント内容の拡充及び安全対策等の強化のため19,862千円を増額した。不用額については、委託料の減や旅費の精算、対象外経費の整理等によるものである。その他、予定していたイベントは概ね予定通り実施できた。								
活動目標 (指標) 及び達成状況		R5活動目標(指標)			達成状況					
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
		・委託事業8件	目 標	(5件)	(6件)	(8件)	(8件)			
			実 績	5件	5件	7件	7件			
		・補助事業3件	目 標	(1件)	(1件)	(0件)	(3件)			
			実 績	1件	1件	0件	2件			
		・イベント参加支援1件	目 標	(ー)	(ー)	(ー)	(1件)			
			実 績	ー	ー	ー	1件			
達成 状況 説明	・委託事業については事業内容を再検討した結果、1件減となった。(イルミネーション/5集落全てで実施済みのため、精査した結果減とした。) ・補助事業については1件が中止となった。(三村交流まつり/実行委員会にて中止が決定) ・イベント支援事業については、1件支援を図った。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況		R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
					目 標	()	(13,315人 以上)	(11,925人 以上)	(18,044人 以上)	()
					実 績		11,925人 以上	18,044人 以上	22,360人	
		進 捗 状 況 説 明	・2件のイベントが廃止、中止となったが、4年振りのムーンライトマラソン開催などにより、目標値を達成することができ、入域観光客数はコロナ前と同水準にまで回復している。 ・8月を除く全ての期間(各月)において前年度の入域観光客数を上回り、繁忙期となる7月から10月の期間は、前年度同時期と比較して、1,714人の増加(22.4%)となった。※8月は台風6号の影響によりフェリーが長期間欠航となったため減少							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・エネルギー、原材料価格の高騰による負担増加により、事業費が増加傾向にある。 ・観光客が増加していくなか、コロナ前と比べ、運営ノウハウを備えたスタッフの離職等により、事業の円滑な執行が難しくなっている。 ・誘客を推進するうえで、ターゲットや方向性を再検討する必要がある。	・地域事業者の意見を踏まえたうえで実施内容を検討し、観光誘客に取組む。
今後の取り組み方針		
・フェリーオンライン予約システムの導入により、利用者の利便性を高め、入域観光客の増加を図る。 ・クルーズ船の寄港が予定されているため、受入体制強化を図り入域客数の増加に努める。		



資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業については、本村の地域性を十分考慮し積極的な事業を行っている村内団体、また村内外の業者とも情報交換を積極的に行え村内情報のPRIについて高い効果を発揮できる団体を選定したため妥当である。 ○予算規模は事業完了後検査を実施、事業内容に資する規模と判断したため妥当と考える。 ○受益者との負担関係は交付要綱に基づき精査しており、妥当と判断する。 ○費目・使途については、精算段階で検査を実施、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	病害虫防除事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-イ 県産農林水産物の安全・安定供給と消費者信頼の確保	
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	さとうきびの生産性の向上と農家所得の向上を目指し、収穫量低下の原因となっている病害虫（イネヨトウ）の被害を防ぐため防除作業を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	7,877	7,129	7,877	7,798	7,160
		(b) 予算現額	6,335	7,129	7,877	7,798	7,160
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,542	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	6,335	7,129	7,877	7,798	7,160
	B. 執行済額		7349	6335	6320	7,248	7,107
	うち交付金充当額		5879	5068	5703	5,798	5,685
	次年度繰越額						
	執行率（％）(B/A)		116.0%	88.9%	80.2%	92.9%	99.3%
予算の状況の説明		当初予定していた予算内での執行となり、R5年度の設置面積が154.8haと概ね計画どおりの執行となった。					
活動目標（指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	防虫剤（性フェロモンチューブ）散布：160ha	目 標	（ 160ha ）	（ 160ha ）	（ 160ha ）	（ 160ha ）	
		実 績	160ha	141ha	162.5ha	154.8ha	
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	伊平屋村さとうきび生産の目標値の160haに対し、フェロモンチューブ設置面積は、154.8haの実績値となった。村全体での防除作業を効果的に実施できた。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度 ）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （ 年度 ）
	さとうきびの生産量 （病害虫防除等による生産量の安定化）	目 標	（ ）	（ 5,277t ）	（ 5,277t ）	（ 5,060t ）	（ ）
		実 績		4,282t	5,203t	3,931t	
	病害虫の発生件数の抑制 平均6.00匹／日以内	目 標	（ ）	（ 平均6.00 匹／日以内 ）	（ 平均6.00 匹／日以内 ）	（ 平均6.00 匹／日以内 ）	（ ）
		実 績		平均1.08匹／日	平均1.30匹／日	平均0.20匹／日	
	進捗状況説明	令和4年度以降、年1回（3月）実施していた初期防除を2回（11月、2月）に分けて実施することで、害虫被害を最小限に抑えることができている。生産量については、台風6号の影響を受け目標値の77%の実績となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・病害虫(イネヨトウ)はイネ科雑草・ほ場周辺縁部等の雑草にも寄生するため、農家による周辺雑草の管理について継続的な指導を実施し、さとうきび圃場の被害を防ぐ必要がある。 ・初期防除により病害虫(イネヨトウ)による被害を最小限に抑えることはできた。	・共同防除の取り組みとして、JA及び生産農家・各関係機関と連携し、イネ科等の周辺雑草等の管理も含めた肥培管理及び薬剤使用等の指導を継続し、さとうきび圃場の被害軽減および生産量の安定化を図る。 ・年度毎の病害虫(イネヨトウ)の被害調査を実施し、翌年度以降の成果目標に発生件数又は抑止件数を追加することで、病害虫(イネヨトウ)の被害を防ぐことを目的とした当事業の効果検証を明確化し、共同防除を行う生産農家の意欲向上を図る。
今後の取り組み方針		
・JA及び生産農家・各関係機関と連携し、連絡会や総会等を通して肥培管理および薬剤使用等の指導を定期的に行う事で、病害虫(イネヨトウ)の慢性的な発生の未然防止に取り組むと共に、関係機関と連携した共同防除を継続し、生産量の安定化に向け取り組む。 ・沖縄県病害虫防除技術センター等の病害虫予察情報等を活用し、発生動向を考慮した早期防除に取り組むと共に、病害虫(イネヨトウ)の被害調査を実施し、当事業の効果検証および今後の被害軽減に向けた目標設定を明確化することで、より効果ある共同防除に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,107	7,107	5,685	1,422	

伊平屋村
7,107千円

需要費
7,107千円

信越化学工業株式会社
6,820千円

有限会社 きん
287千円

フェロモンチューブ(ヨトウコンー1)
620巻

支柱 め竹 4,350本

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、フェロモンチューブの製造・販売をしている信越化学工業株式会社を選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業内容に見合うものとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については、防除剤設置作業を生産農家等の協力により実施しているため、負担を無しとしている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	伊平屋村						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-② 伊平屋村優良繁殖牛導入事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
担当部課名	農林水産課	事業実施 （予定）年度	平成26年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容	農家の経営安定化を図るため、畜産農家が行う繁殖牛導入費用の一部（上限を50万として、購入費用の半額を補助）を助成する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の 状況	(a) 当初予算額	5,600	5,600	7,000	7,000	7,000
		(b) 予算現額	3,200	5,600	7,000	7,000	7,000
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,400	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	3,200	5,600	7,000	7,000	7,000
	B. 執行済額		3,132	4,635	4,981	2,453	770
	うち交付金充当額		2,505	3,708	3,984	1,962	616
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率（％）(B/A)		97.9%	82.8%	71.2%	35.0%	11.0%
予算の状況の説明		飼料価格等の高騰により畜産経営環境が厳しい状態となり執行率が低くなった。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	優良繁殖雌牛導入頭数14頭	目 標	(14頭)	(14頭)	(14頭)	(14頭)	
		実 績	11頭	13頭	7頭	3頭	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	飼料価格等の高騰により畜産経営環境が厳しい状態となり、目標を下回る結果となった。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （ 年度）
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 103%以上	目 標	()	(102%以上)	(102%以上)	(103%以上)	()
		実 績		107%	107%	107%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状況 説明	本事業により導入した繁殖用雌牛から産まれた子牛とそうでない子牛を比較した結果、目標を達成することが出来た。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・雌牛を購入(導入)する時期等、農家へ導入計画の支援を行う必要がある。 ・導入計画が年度途中で変更になることがあるため、関係団体と連携し導入に努める必要がある。 ・小・中規模の経営体が多い本村においては、子牛のセリ値が市場の状況により乱高下する可能性を踏まえ、安定的な畜産経営が行えるよう中・長期的な経営計画策定や事業による支援等の継続を必要とする。	・早めに導入計画を立てるよう調整し、計画に変更が生じた場合は、関係団体と連携し導入に努める。 ・畜産農家への支援として、繁殖技術の向上等について講習会の開催や他地区との技術交流支援を行う。
今後の取り組み方針		
母牛点数の高い雌牛を導入し、産まれた仔牛(雌)を新たな繁殖用雌牛として育成することや、白血病検査の実施によって品質向上を図り、引き続き事業継続による導入を支援していく。また、説明会・講習会の開催や他地区との技術交流支援、畜産共進会等への積極的な参加を推進することで繁殖技術の更なる向上と村内の繁殖用雌牛の改良・更新を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>770</td><td>770</td><td>616</td><td>154</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	770	770	616	154	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
770	770	616	154	0										
伊平屋村 770千円 → 補助金 770千円 → 伊平屋村畜産農家 770千円 畜産業を営む2農家に対する 優良繁殖雌牛導入補助金。 770,500円														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、村内の畜産農家全員を対象としており妥当である。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○自家保留する農家が増えたことにより減額となったため、年度途中の執行状況を勘案して予算規模の圧縮の対応を検討していく。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者への補助は、事業に係る費用の半額且つ上限額を定めており妥当である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途については、事業目的である繁殖牛導入に係る費用の補助のみとなり適正である。											

市町村名	伊平屋村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	伝統文化継承支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及	
事業内容	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成、本村特有の伝統芸能を継承するため、地域人材等との連携による課外講座の実施や保存会及び各集落の活動を支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	9,148	7,290	9,109	12,000	14,500
		(b)予算現額	7,946	7,290	9,109	12,000	8,595
		(c)増減額(b-a)	▲1,202	0	0	0	▲5,905
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		7,946	7,290	9,109	12,000	8,595
	B. 執行済額		6,958	6,691	2,215	1,193	7,007
	うち交付金充当額		5,566	5,361	1,771	954	5,605
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		87.6%	91.8%	24.3%	9.9%	81.5%
予算の状況の説明		・新型コロナウイルス感染症の影響により、体制が脆弱になったことによる芸能祭の中止や、各団体への支援の減により執行額が減額となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	伝統文化教室の開催(毎月第3水曜日)		目 標	(19講座 (11回))	(16講座 (11回))	(13講座 (10回))	(9講座 (10回))
			実 績	19講座 (8回)	16講座 (6回)	13講座 (8回)	9講座 (10回)
	各支部・団体への支援(6団体)		目 標	(6団体)	(6団体)	(6団体)	(6団体)
			実 績	6団体	3団体	0団体	6団体
達成 状況 説明	・伝統文化教室の開催及び各支部、団体への支援は、当初計画通りに実施することができた。 ・芸能公演を予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により体制が脆弱であったため、開催出演は未達成となった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	伝統文化教室への参加率:100%		目 標	() (100% (127名))	(100% (116名))	(100% (105名))	()
			実 績		100% (127名)	100% 116名	100% (105名)
	伝統芸能演舞者数:80名		目 標	() (80名)	(80名)	(80名)	()
			実 績		15名	中止	中止
	進 捗 状 況 説 明	・伝統文化教室の参加率は100%で目標達成した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により芸能公演を中止したため、伝統芸能演舞者数と来場者数は実績無しとなった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・コロナが5類へ移行したことにより、村諸行事が実施されるが、体制の構築が不十分で伝統行事を実施することで精一杯の状態である。 ・伝統芸能に関わる講師が高齢化等により少なくなっており、教室の維持が難しくなっている。	・活動の見直し・改善を行い、文化継承が持続可能なプログラムを検討する。 ・子ども向けだけでなく、大人世代の伝統文化教室を開催するなど、後継者育成にも着目し、持続できる文化芸能の保存・継承ができるプログラムを構築する。 ・各団体への支援を事前に確認するなど、連携を密にする。
今後の取り組み方針		
・講師の高齢化等による人材不足解消に向け、地域人材や村民俗芸能保存会と連携し、新たな人材育成の取組を行う。 ・本村出身の芸能関係者との連携を図りながら、伝統芸能・文化の継承機会を増やし、興味関心をもつ講演等を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,397</td><td>7,007</td><td>5,605</td><td>1,402</td><td>390</td></tr> </table> 伊平屋村 7,077千円 報償費 968千円 伝統文化教室講師 968千円 (伝統文化教室にかかる講師報償費(講師19名)) 需用費 268千円 消耗品 268千円 使用料及び賃借料 33千円 会場使用料 33千円 補助金 5,738千円 伊平屋村民俗芸能保存会 他5地区 5,738千円 (対象外:390千円)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,397	7,007	5,605	1,402	390
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,397	7,007	5,605	1,402	390										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○講師については、業務実績、実技能力を勘案し選定を行っており、補助先においても地域団体からの申請により交付しているため妥当であったと考える。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○計画変更による減額を行っており、不用額を除いては妥当であったと考える。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金の交付要綱に沿って、各字団体等への支援であることから、妥当であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○精算時に必要書類を精査しており、事業目的に即した支出であるため妥当であったと考える。											

市町村名	伊平屋村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②		特別支援教育支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ 時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	個別にあったきめ細かい学習支援を実施するため、特別支援教育支援員を各所へ配置する。 ①村営塾の塾講師を配置し、家庭学習支援等による教科指導を強化する。 ②特別支援を必要とする児童に対し、学校専属の支援員を配置し、授業支援の強化を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	23,125	23,150	23,150	23,150	23,141
		(b)予算現額	23,125	23,150	23,150	23,150	23,141
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	23,125	23,150	23,150	23,150	23,141
	B.執行済額		22,539	19,424	17,186	17,083	17,524
	うち交付金充当額		18,031	15,381	13,748	13,667	14,019
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		97.5%	83.9%	74.2%	73.8%	75.7%
予算の状況の説明		放課後の学習支援を計画に沿ってスタートできたが、コロナ感染症防止による村営塾の休塾等により執行額が減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	特別支援を必要とする児童への支援員の配置 1名	目 標	(1名)	(1名)	(1名)	(1名)	
		実 績	1名	1名	1名	1名	
	学習支援員の配置 3名	目 標	(2名)	(2名)	(2名)	(3名)	
		実 績	3名	3名	2名	1名	
達成状況説明	・小学校特別支援員については、年度初めより1名配置でき、目標達成できた。 ・中学校学習支援員については、年度当初より1名配置できたが、広く公募するも支援の専門性を求めることから希望する人材がおらず、目標に達することが出来なかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		100%	100%	100%	
	沖縄県学力到達調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校 -0.3ポイント以上 中学校 -7.4ポイント以上	目 標	()	(小:-5.9以上 中:-2.7以上)	(小:-5.0以上 中:-4.3以上)	(小:-0.3以上 中:-7.4以上)	()
		実 績		小:+0.9 中:-7.9	小:-9.375 中:-2.95	小:-4.925 中:-7.175	
	進捗状況説明	・特別支援対象となる児童生徒の保護者へアンケートを行った結果、学習支援員配置について満足度100%であった。児童へのきめ細やかな学習支援活動ができた。 ・学力到達度テスト調査における県と本島との平均正答率の差については、小学校は基礎学力の強化が足らず目標未達となったが、中学校においてはわずかではあるが目標を上回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・支援を必要とする児童が複数いるため、個々の発達状況に応じた細かい個別支援が必要である。 ・村営塾では、学習支援員に限りがあり、細かい習熟別の指導が難しい。授業時間をずらして実施するなどの各段階における学習機会の提供が必要。	・多様化する特別支援、学習支援の在り方について、保護者のニーズを把握するとともに、学校・保護者との密な連携や外部専門家との連携により、更に多角的・多面的に支援ができる取り組みを検討する。 ・学習支援員配置(村営塾)については、数年連続で小中学校そろって成果目標を上回っておらず、委託先の変更検討などこれまでのプログラムを抜本的に見直す必要がある。 ・継続した学習に対する意識付けを行うため、学校との連携を強化し、個別指導的学習を推進する。
今後の取り組み方針		
・学習支援の在り方が日々変化していることから、児童生徒の発達の多様化合わせた改善する必要がある。また、サポート体制を構築する必要性から、学校と塾、教育委員会が連携を強化し、学習支援の統一化を図るとともに、主体的な学習支援を行う。 ・村営塾を受講している子供達の学習到達度に差があるため、当初より習熟度別でクラス分けを行うなど運営の見直し・改善を行う。 ・村営塾の委託先変更も含めたプログラム見直しを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		18,016	17,524	14,019	3,505	492

伊平屋村
17,524千円

給与
4,754千円
対象外:492千円

職員手当
549千円

共済費
820千円

特別支援員
学習支援員給与等
6,123千円

委託費
11,401千円

(社)教育振興会
11,401千円

特別支援員の配置に係る会計年度職員:1名

学習支援員の配置に係る会計年度職員:1名

地域学力向上支援事業実施業務委託

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○島内にて事業実施可能な委託先が限定されており、事業目的に適した委託先であるため委託先の選定は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○支援員配置については、人員確保が困難なことから、不要額が発生しているが、中途採用等を含め目標達成するのに必要な予算規模である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○教材費は受益者負担で整理しているため妥当であったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、教材について受益者負担とし、精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであった。

市町村名	伊平屋村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③		英語学習支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育委員会		事業実施 (予定)年度	平成25年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の 推進	
事業内容	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、イングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し異文化を体験する機会を与える。また、イングリッシュキャンプでは英語でのコミュニケーションやスキットなど英語を使った発表機会を多く盛り込み、語学学習だけでなくコミュニケーション能力や表現力の向上を図ることを目的とする。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の 状況	(a)当初予算額	1,930	2,150	2,110	2,110	2,084
		(b)予算現額	1,786	310	2,110	2,110	2,084
		(c)増減額(b-a)	▲144	▲1,840	0	0	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	1,786	310	2,110	2,110	2,084
	B.執行済額		1,692	242	174	106	1,863
	うち交付金充当額		1,353	166	139	840	1,490
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		94.7%	78.1%	8.2%	5.0%	89.4%
予算の状況の説明		海外短期留学の派遣人数が目標人数を下回ったため、執行率が下がった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	海外短期留学(アメリカ):3名	目標	(3名)	(3名)	(3名)	(3名)	
		実績	中止	中止	中止	2名	
	イングリッシュキャンプ開催:30名	目標	(30名)	(中止)	(30名)	(30名)	
		実績	27名	中止	8名	9名	
達成状況説明	・令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことによって、本村の海外短期留学派遣事業を再開し、村内中学生向けに広く募集したが、応募数が2人と未達となった。 ・イングリッシュ・デイ・キャンプは別団体の主催する英語学習プログラムと時期が重なったことと、部活動の兼ね合いで参加人数が減り、目標人数を下回った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		100%	87.5%	100.0%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行したことによって、本村の海外短期留学派遣事業も再開し、今年度は2名派遣することができた。 ・イングリッシュ・デイ・キャンプは別団体の主催する英語学習プログラムと時期が重なったことと、部活動の兼ね合いで参加人数が減り、目標人数を下回った。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・海外短期留学派遣について、例年派遣事業を委託している企業は海外派遣を行っていなかったため、今年度は委託先を変更し海外派遣事業を実施した。 ・イングリッシュ・デイ・キャンプは、小学1年から中学3年生までを対象に募集しており、別団体の主催する英語学習プログラムと時期が重なったため、参加が少なかった。 ・短期留学は中学生対象に募集しており、夏季休業中では、部活動や塾との兼ね合いから中学生の参加が少なかった。	・新しい委託先は、独自で小中学生を対象とした県内英語キャンプも主催しており、こちらのプログラムを採用することで児童生徒の発達段階に応じた英語学習支援が可能。次年度はこちらのプログラムも積極的にPRしていく。 ・イングリッシュデイキャンプでは、英語の能力に個人差があるため、習熟別で分けるなど、小中学生双方が意欲的に学習に臨めるような相違工夫が必要。開催時期についても他事業と調整し、プログラムが重ならないよう調整する。 ・短期留学については、中学生だけでなく高校生についても対象とする。
今後の取り組み方針		
・海外短期留学派遣については、コロナ禍で海外派遣事業に参加できなかった当時の村出身中学生(現在高校生)まで募集枠を拡大し、意欲のある生徒の育成を継続していく。 ・イングリッシュ・デイ・キャンプは、講師・補助スタッフを増やし、習熟別のプログラムを提供できるよう工夫し、中学生の参加も促し、開催時期についても事前に調整を行う。 ・村内ALTの活用や地域人材を活用したプログラムを考案し、意欲的に学習できるよう環境を提案する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,070</td><td>1,863</td><td>1,490</td><td>373</td><td>207</td></tr> </tbody> </table> 伊平屋村 1,863千円 委託費 1,863千円 DOTE Solutions(株) 1,863千円 (対象外:207千円) 海外短期留学派遣(2名分)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,070	1,863	1,490	373	207
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,070	1,863	1,490	373	207										
資金使途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は旅行実績、実技能力を勘案し随意理由により整理しているため委託先として妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は実績報告書等により精査し、事業内容に見合った適正な規模であったと考える。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○短期海外留学においては事業費の10%を受益者が負担したことから妥当であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途は事業目的のみ限定し、精算段階で検査を実施しており必要なものであったと判断した。											

市町村名	伊平屋村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-④	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(4)-ア 離島と本島・県外との交流促進		
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成26年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	村外で実施されるスポーツ大会や文化交流等各種教育活動に積極的に参加し、本島との交流機会が少ない離島の特殊性の平準化に努め、小規模校では経験できない他地域との交流や各種イベント・スポーツ大会を通じ、児童生徒の健全な育成を推進するため、派遣費用を助成する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	2,135	2,151	2,151	2,150	2,484	
		(b)予算現額	858	1,310	1,310	2,150	2,484	
		(c)増減額(b-a)	▲1,277	▲841	▲841	0	0	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	858	1,310	1,310	2,150	2,484	
	B.執行済額		749	164	164	927	1,379	
	うち交付金充当額		599	131	131	742	1,103	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		87.3%	12.5%	12.5%	43.1%	55.5%	
予算の状況の説明		当初計画の枠内での執行にあたり、派遣回数は当初の想定より上回ったものの、大会により児童生徒数の増減があったため、中学生の参加数が目標値を下回り不用が発生した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	当該開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(小学生4回・60名)	目標	(4回 60名)	(4回 60名)	(4回 60名)	(4回 60名)		
		実績	1回 20名	7回 52名	8回 63名	9回 93名		
	当該開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(中学生4回・216名)	目標	(4回 216名)	(4回 216名)	(4回 60名)	(4回 60名)		
		実績	1回 26名	6回 97名	7回 72名	19回 147名		
	達成状況説明	・令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことによって、島外への児童生徒の派遣回数が増え、小中学生とも目標回数は達成したが、中学生については該当する生徒が少ないため、目標人数を下回った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)含め、当該事業のあり方について検討する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()	
		実績		100%	84.6%	96.4%		
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	以前と比較して島外への派遣回数が増えたことから、特にスポーツ面においては島内生徒が地区選抜選手として活躍するなど、事業成果が確実に現れている。また、アンケート結果からも保護者が参加生徒の成長を感じることができていると判断できる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業を実施することにより、特にスポーツ面での効果は顕著である。しかし、児童生徒の健全育成には、文化面での体験活動や交流も重要であるため、派遣内容の精査が必要である。	本事業の継続的に実施することで事業効果の向上を図るため、文武両道の観点からスポーツ大会偏重ではなく、文化・学習面での交流や発表会等への派遣も積極的に行うよう指導・助言していく。また、スポーツ関連の派遣補助対象大会も引き続き精選していく。
今後の取り組み方針		
スポーツ大会に重きが置かれすぎている感が否めないため、文化や学習等の交流・派遣についても推奨していく予定。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,495	1,379	1,103	276	116

伊平屋村
1,495千円

負担金補助金及び交付金
1,495千円

村内児童生徒
1,495千円
対象外:116千円

児童生徒島外派遣等補助金

小学生:9回 延べ人数93名 426千円

中学生:19回 延べ人数147名 1,069千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、児童生徒の所属する団体であることから妥当であったと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算については、派遣回数増による成果がでている一方、近年参加人数が目標に達していないことから一部規模の見直しが必要。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○船賃及び宿泊費以外の経費については、受益者負担としたため、妥当であると考え。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業目的のみに限定としたことから妥当であると考え。

市町村名	伊平屋村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	キャリア教育支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成26年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多様な職業能力の育成・開発		
事業内容	本村は離島で高校が無いため、中学卒業後高校入学と同時に島発ち(沖縄本島へ離村)するが、過疎化が進む当村において雇用先も少ないため、沖縄本島での職場体験学習(キャリア教育)を行い、就業意識向上の他、島で育った自信と誇りを持った生徒の育成を目的とする。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,778	4,809	4,809	4,809	1,876
		(b)予算現額	4,168	4,809	4,809	4,809	1,876
		(c)増減額(b-a)	▲610	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	4,168	4,809	4,809	4,809	1,876
	B.執行済額		4,021	2,187	432	1,023	390
	うち交付金充当額		3,217	1,708	346	818	311
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.5%	45.5%	9.0%	21.3%	20.8%
予算の状況の説明		・執行率が低調となった要因は、授業実施に係る村外講師の来島数が減少したことや、使用料等が不要となったことによるもの。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・商品開発を通した生徒への研修	目 標	(研修の実施)	(研修の実施)	(研修の実施)	()	
		実 績	研修の実施	研修の実施	研修の実施		
	・パッケージデザイン決定	目 標	(デザイン決定)	(デザイン決定)	(デザイン決定)	()	
		実 績	デザイン決定	未実施	未実施		
	・外部講師を招聘しての授業実施	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
	・村内での産業学習の実施	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
・本島への職場体験(マナー講座の実施)	目 標	()	()	()	(実施)		
	実 績				実施		
・商品開発・職場体験を通した商品の発表会	目 標	(発表会実施)	(発表会実施)	(発表会実施)	(発表会実施)		
	実 績	発表会実施	発表会実施	未実施	発表会実施		
達成 状況 説明	・外部講師を招聘し、職場体験前の心構えなどを含めた授業を実施した。 ・中学1年生については、島発ち教育を見据え、地域学習を村内産業体験を実施した。 ・中学2年生については、職場体験前にマナー講師を招聘し実施。その後本島南部にて職場体験を実施した。 ・職場体験を通じた発表会を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(60%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目 標	()	(85%以上)	(85%以上)	(60%以上)	()
		実 績		53%	86%	67%	
	進捗 状況 説明	・授業計画の変更に伴い、授業日数の減少などの影響もあったが、概ね計画通りに執行することができた。生徒へのアンケート結果をみると、12名中8名の生徒が働くことへの興味、関心が湧いたと回答した。島外での職場体験は島発ち後のキャリア形成の参考となる貴重な体験となったと考えられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・これまで総合学習の時間を使用して本事業の授業を実施したが、授業時間の見直し等もあり、限られた授業時間の中で事業を実施しなければならない。 ・職場体験時、生徒に体調不良者が出た場合の管理体制が不十分のため、教員の人数確保が課題。 ・希望する職種の体験先が確保できなかった。	・学校関係者との連携を密し、アンケート調査で働くことへの意欲・関心等の向上を図るため、事前の職場体験前の心構え講座等、限られた時間の中でいかに効率よく事業の実施を図るか検討していく。 ・管理体制を強化するため、通信関係を含め連絡体制を密にし、少ない人数でも対応できるよう体制を強化する必要がある。 ・希望する職種を事前に確認し、受け入れ可能な団体等を確保する必要がある。
今後の取り組み方針		
・体調不良等を想定した中学生の管理を実施するため、連絡体制や人数の増員を行いながら安全体制を強化する。 ・学校主体となった取組運営を行い、限られた授業数を確保に取り組む。 ・希望する職種選定について事前に確認し、本島にあるキャリアサポートセンターを活用し受け入れ体制を強化する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>419</td><td>390</td><td>311</td><td>79</td><td>29</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	419	390	311	79	29
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
419	390	311	79	29										
伊平屋村 390千円 報償費 29千円 (対象外:29千円) 報償費 29千円 (対象外:29千円) 旅費 390千円 旅費 390千円 島外講師報償費 島外講師費用弁償、 職場体験費用弁償														
資金の流 れ・費 用・使 途の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、この事業の旅費等であり、妥当であるとする。 ○予算規模は人員確保が困難な状況で執行率が低い状況が続いているため、成果目標達成や生徒のキャリア教育の観点を踏まえ、適宜見直しを必要とする。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定し、確認検査(精算等)により適正であった。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥		福祉従事者人材育成事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(5)-(ウ) 日常生活を支える福祉サービスの向上	
担当部課名	住民課		事業実施 (予定)年度	令和4年度 ～ 令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)	
事業内容	介護事業所の改革や研修実施、収益改善など効率化構築作業を行う。また、施設管理者向けのマネジメント等、施設改善に繋げ、維持向上を行う。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和6年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	5,508	5,500			
		(b)予算現額	5,508	5,500			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	5,508	5,500			
	B.執行済額		5,442	4,103			
		うち交付金充当額	4,353	3,282			
		次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)		98.8%	74.6%			
	予算の状況の説明		・執行残については委託の契約額残によるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	村内、村外での各種研修の実施	目標	(1回)	(1回)	()	()	
		実績	1回	1回			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・コンサルティング業者の年1回の資格研修の実施と現場での毎月の訪問指導(1日以上)・遠隔指導(週2回以上)を実施することで施設職員のモチベーション向上を行い離職者が0名の状況となった。 ・施設管理の委託を行った社会福祉協議会に対しての指導助言を行い、職場環境の改善(休暇の追加など)を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (6年度)
	・村内外での福祉人材育成確保研修の完了	目標	()	(研修の完了)	(研修の完了)	()	()
		実績		研修完了	研修完了		
	・福祉人材有資格者育成 3名以上	目標	()	(3名以上)	(3名以上)	()	(9名以上)
		実績		3名	4名		
	進捗状況説明	介護専門職員の離職により、施設を安定的に運営することが困難なため、コンサルティング業者を毎月定期的に現場介入させることで、介護業務形態、入居者へのアプローチ方法等の改善を行い、職員間の就業へのモチベーションが向上したため、村内で介護職初任者研修を実施するよう現場より要望があったため、週末夜、休日を利用し3週間の期間で開催。施設職員4名・他職種4名計8名受講した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(利用者・介護従事者の満足度) ・令和4年度より取り組んでいる介護事業の改善により、業務上の問題点を適宜、助言・指導することで、介護従事者のモチベーション向上に繋げることができた結果、職員側から介護初任者研修の実施希望があり実施に繋がった。 更に、利用者のニーズに寄り添ったサービス展開を行うことで、利用者・職員間の信頼関係が構築できた他、施設管理を受託している社会福祉協議会においては、職員目線の経営(休日の提案など)改善など行うことで、利用者・介護従事者双方で利用しやすい環境を構築できたことが目標値達成の要因と考えられる。	(利用者・介護従事者の満足度) ・介護職初任者研修の開催が年度末になったことで、介護従事者の資格取得に向けた受講スケジュールがタイトになったこと。 ・介護初任者研修のスケジュールについて見直しを行い、職員目線の経営改善が図れるよう各職員間で連携を図る。
今後の取り組み方針		
(利用者・介護従事者の満足度) ・今後は、介護初任者研修のスケジュールを前倒しすることで、ゆとりのあるスケジュールを提案し、高いモチベーションを維持した状態で受講できる環境を提供し、介護の質を高める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,103</td><td>4,103</td><td>3,282</td><td>821</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 伊平屋村 4,103千円 委託料 4,103千円 (株)IDO 4, 103千円 福祉従事者人材育成事業業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,103	4,103	3,282	821	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,103	4,103	3,282	821	0										
資金使途の流れ、費目・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○介護事業の専門知識を有し、コンサルティングを実施している業者より見積もりを徴し、最低価格業者と委託契約を締結していることから妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑦	琉球弧に関する広域調査・文化資源創出事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア 沖縄文化の継承・発展・普及			
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ～ 令和7年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)			
事業内容	琉球弧を対象地域とした調査を実施し、その内容が無償の出版物として刊行すると共に、調査結果等の展示を実施する。また、村内外へ本村の文化の普及啓発を行うことで、未来の交流事業の活性化、関係人口の増加を狙う。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(7年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	10,000					
		(b) 予算現額	10,000					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	10,000					
	B. 執行済額		9,999					
	うち交付金充当額		7,999					
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		99.9%					
予算の状況の説明		調査・出版と2回の展示のうち一つを業務委託とした。不用額の千円は委託費の残額である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	調査委託の完了 展示会の実施		目 標	(完了)	()	()	()	
			実 績	完了				
達成 状況 説明	・出版物について、調査・執筆が難航し、当初予定していた1月末に刊行することができなかったが、代筆者をたてる等の対応により3月末に配布することができた。 ・展示会は、12月と2月の2回実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (R4年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (8年度)	
	調査委託の完了	目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
	展示会の実施	目 標	()	(実施)	()	()	()	
		実 績		実施				
	【参考指標】 関係人口の増加 歴史民俗資料館の来館者数(有料入館者)	目 標	(516名)	(1,516名)	()	()	()	
		実 績		1,310名				
進 捗 状 況 説 明	調査業務及び展示会の実施は終了した。関係人口の指標は令和4年度の入館者数を基準とし、令和8年までに1000人の増加を目指す。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・現地調査、既往の文献調査について、現地調査に時間を要したことから、文献調査に使う時間がひっ迫し、目次案(テーマ)の絞り込みの時期がずれ込んだため、編集方針の設定が遅れた。 ・製作工程が後ろ倒しになったことにより、アンケートの回収数が少なかった。 ・展示会のアンケートでは、90%が展示企画に肯定的で、82%が伊平屋の魅力が伝わったと回答した。 ・関係人口の増加を図る指標として令和8年度に村資料館において来館のきっかけに対する印刷物の影響を図るアンケートを実施する。	・制作の工程を早めるために以下の工夫が必要と思われる。 ①既往の文献調査、現地取材・調査の手順に変更し、目次案(テーマ)を作った上で現地調査の計画をたてる。 ②タブロイド新聞の製作体制(座組)に関して、受託者(出版社)の案と本村の案で、協議するプロセスが必要。 ・アンケート項目で本村の認知度を測る項目を設け、次年度以降の基準値を設ける。
今後の取り組み方針		
・工程を計画通りに進められるよう、意思決定のプロセスを初期段階で協議し、決めるといった工夫をする。 ・目次を決めてから調査に取り組むなど、制作の手順を見直す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
伊平屋村 9,999千円 委託料 9,999千円 (株)左右社 9,999千円 調査・出版				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,999	9,999	7,999	2,000	0
資金使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、専門性を有する地方自治体の文化的出版物制作に精通した企業等を選択しており、随意理由等により妥当であると考える。 ○予算規模は事業内容を精査したところ、事業内容に資する規模と判断したため妥当と考える。 ○費目・使途については、精算時において必要書類を確認した結果、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	伊平屋村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	幼稚園預かり保育支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	子ども・若者の育成支援	
事業内容	Ⅲ-3-(2)						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の 状況	(a)当初予算額	2,268	2,160		2,280	1,830
		(b)予算現額	2,268	2,160		1,824	1,830
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		0
		(d)繰越額	0	0	0		0
		A.計(b+d)	2,268	2,160	0		1,830
	B.執行済額		2,165	2,015		1,208	475
	うち交付金充当額		1,732	1,597		966	380
	次年度繰越額		0	0	0		0
	執行率(%) (B/A)		95.5%	93.3%			26.0%
予算の状況の説明		当初、嘱託保育士2名配置していたが、途中退職したため人件費が減額となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	嘱託保育士配置 2名	目 標	(1名)	()	(1名)	(2名)	
		実 績	1名		3名	2名	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	当初、嘱託保育士2名を配置したが、自己都合により途中退職した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	目 標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績			100%	100%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	8名の預かり保育園児に対して、預かり保育を実施した。アンケートにて、「預かり保育があることで子育て・就労がしやすい」との質問に「そう思う」と回答した保護者は、100%であった。そのことから、成果目標を達成できたと考える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・当初、嘱託保育士2名を配置したが、自己都合により途中退職し、後半の運営が困難を余儀なくされた。直営で実施するには、専門的な人材を島内で確保するには容易ではなく、委託を含め運営を実施することが必要である。	直接保育士個人と契約するのではなく、複数人雇用している会社等への委託を検討する。
今後の取り組み方針		
安定的な人材確保のため、委託契約に変更する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>496</td><td>475</td><td>380</td><td>95</td><td>21</td></tr> </table> 伊平屋村 475千円 報酬 475千円 保育士報酬 475千円 対象外:21千円 嘱託保育士の配置に係る会計年度職員:2名					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	496	475	380	95	21
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
496	475	380	95	21										
資金使途の流れ、点検・評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○公募を行い、保育士資格をもつ者より選定したことから妥当であった。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は保育士報酬のみであり、嘱託保育士の配置期間の調整が難航したが、保護者の満足は高いため事業内容を精査し予算規模を見直していく。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業目的に即した人件費の支出であることから妥当であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	適正飼養推進化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-(オ)	
担当部課名	住民課	事業実施 (予定)年度	令和4年度 ～ 令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	保健衛生環境の向上		
事業内容	本村の住みよい住環境の提供を図るため、条例の策定を通して猫の適正飼養に向けた普及・啓発活動の取組を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,500				
		(b) 予算現額	7,500				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	7,500				
	B. 執行済額		7,489				
	うち交付金充当額		5,991				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		99.9%				
予算の状況の説明		・執行残については委託の契約額残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	・避妊去勢手術3回/年	目 標	3回/年				
		実 績	3回				
達成状況説明	・普及啓蒙活動も兼ねて先行して猫の避妊・去勢手術を先行実施し、有用性もPRできた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (5年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (9年度)
	・避妊去勢手術実施済猫50頭以上	目 標		50頭			
		実 績		19頭			
	【参考指標】 猫飼養条例制定検討委員会開催	目 標		1回			
		実 績		1回			
	【参考指標】 適正飼養に関する普及啓蒙活動(マイクロチップ装着・避妊去勢手術・室内飼養の励行・屋外猫への給餌者への指導等)	目 標		100頭			
		実 績		108頭			
	進捗状況説明	・住民向けの説明会にて、避妊去勢手術の勧め・室内飼育の勧め等の説明をした。 ・飼養条例制定検討委員会を開催し、子どもの情操教育、愛猫家にも配慮した条例制定について検討した。 ・説明会や個別指導の影響で村内の多頭飼育者から申し出があり、猫の避妊去勢手術を実施した(30頭中19頭)。その後、多頭飼育者の生活環境が改善され、地域への悪臭・糞尿による苦情も減少した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(村内の取り巻く状況) ・本事業実施を機に、避妊去勢の重要性や室内飼育の重要性、多頭飼育による住民被害について説明会や啓蒙活動で一貫して伝えることで、愛猫家にも寄り添って事業を実施できた。その結果、多頭飼育飼い主の周辺住宅トラブルが減少したことに加えて、その他の集落にも宣伝効果が発現し、猫飼養に対し多くの村民が関心を持つようになった。 ・同じ箇所に設置しているトラップに猫が警戒して捕獲できない場所もあるため、区長や関係者と場所の選定を行う必要がある。	(村内の取り巻く状況) ・野良猫や野猫に餌やりを行っている村民に向けての先行的アプローチが不足していたこと等を踏まえ、検討委員会での協議を継続する。 ・トラップの場所を変更しながら中に置いてある誘い餌も現在のものと替えて猫の警戒心を低下させる取り組みを実施する。
今後の取り組み方針		
(村内の取り巻く状況) ・今後は検討委員会でも議題に挙がった、条例の推進員・餌やりを行う管理人を設置し、村民全員で猫と共存可能な社会を構築する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		7,489	7,489	

伊平屋村
7,489千円

委託費
7,489千円

委託料
7,489千円
NPO法人 どうぶつたちの病院沖縄

適正飼養推進化事業委託業務

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、県内市町村に於いて同様の実務実績のある業者と委託契約を締結しており、事業適正執行の観点から受託業者に選定している。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③自動車航送コスト負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-2-(8)-ア 人流・物流のコスト低減と情報通信基盤の強化		
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(2)	
事業内容	本村と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減し定住環境の改善を図るため、その一部を支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	67,064	67,041	67,041	67,041	67,041
		(b)予算現額	70,869	55,806	67,041	72,385	76,283
		(c)増減額(b-a)	3,805	▲11,235	0	5,344	9,242
		(d)繰越額			0	0	0
		A.計(b+d)	70,869	55,806	67,041	72,385	76,283
	B.執行済額		70,027	55,806	63,474	72,231	73,905
	うち交付金充当額		56,021	44,645	50,779	57,785	59,124
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99%	100%	95%	100%	97%
予算の状況の説明		前年度と同程度程度の利用を想定し当初予算を計上したが、新型コロナ以前の利用者数に回復し昨年度よりも利用数に増加があり、実績を上回った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	自動車航送運賃の低減 R5年度:年間6,300台	目標	自動車航送(運賃の低減)年間6,300台	自動車航送(運賃の低減)年間6,300台	自動車航送(運賃の低減)年間6,300台	自動車航送(運賃の低減)年間6,300台	
		実績	5,176台	5,856台	6,697台	6,867台	
		目標					
		実績					
達成状況説明	新型コロナ感染症以前の利用者数に回復し、前年度よりも利用者数の増加があったことで年間目標台数を達成(109%)することができた。 村民の経済活動の活性化も図られ、沖縄本島との移動しやすい環境構築により、村民生活に欠かせない自動車航送運賃コストの低減による定住環境の改善が図られていると考える。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(4年度)	R3年度	R4年度	R4年度	目標値(年度)
	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標		(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	
		実績		98%	95%	96%	
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	島民へのアンケートを実施した結果、96%の人が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと感じると回答している。このことから当事業において、医療機関への通院や冠婚葬祭、教育関係行事等での沖縄本島までの移動手段が確保され、村民の経済的負担が軽減されたことにより、定住環境の改善が図られたと考える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)											
	・新型コロナウイルス感染症以前の利用者に回復し、昨年度よりも利用者数が増加しているが、島内の公共工事の増加により工事業者の(伊平屋村→本島:車両8~10m等)事前予約などが多く、島内利用者の予約が出来ず当日のキャンセル待ちの対応が多く発生している。 ・台風以外の要因で欠航になる日は、事前に防災無線・村ホームページを通して周知し、平日のキャンセルがある利用者は、事前または当日の早い段階でキャンセル連絡をするよう周知を図る必要がある。	・運天港、チケット売り場、フェリーの事前予約状況を確認の上、関係機関と連携を図り、予約時刻の30分前には、キャンセル待ちの方の車両乗船手続きを行うなど、効率的な体制の構築を継続する。 ・村の新しいホームページの活用により、キャンセル待ちの周知徹底や、防災無線等による村民への理解を浸透させるため、引き続き呼びかけを行う。 ・事前予約システムの導入など、利用しやすい環境の構築を図る。											
今後の取り組み方針													
・車両予約確認体制においては、確認事項(運天港、村チケット売り場、フェリーと事前の車両予約状況の把握)を踏まえ、当日の最大積載内容を確認しつつ、チケット購入に係る運用体制を強化する。 ・当日の悪天候や欠航が発生する場合等について、村の新しいホームページや防災無線を活用して周知する共に、出発の1時間半前には出港の可否を判断するなど、村観光交通課、フェリー、運天港の3方で連携を密にし取り組んでいく。 ・フェリー事前予約システムを活用し、利用の効率化を図る。													
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)													
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>73,905</td><td>73,905</td><td>59,124</td><td>14,781</td><td>0</td></tr></table> 伊平屋村 73,905千円 補助金 73,905千円 伊平屋村船舶運航事業者 73,905千円 住民への自動車航送運賃 低減相当額に係る補助金				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	73,905	73,905	59,124	14,781	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
73,905	73,905	59,124	14,781	0									
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については公益性があり妥当である。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね妥当である。										
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については沖縄離住民等交通コスト負担軽減事業を参考に設定し、妥当であると考える。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、確定検査において、必要書類等を確認した結果適正と判断した。										

市町村名	伊平屋村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	公営墓地等整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(5)-(イ) 沖縄の歴史と景観に配慮した 千年悠久のまちづくり	
担当部課名	住民課	事業実施 (予定)年度	令和4年度 ～ 令和7年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(2)		
事業内容	個人墓地の散在化を防ぎ、土地の有効利用を促進する。また、墓地所有に係る個人負担を軽減し生涯安心して生活できる環境づくりを行うため公営墓地を整備する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度	R5年度	R7年度	R8年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	6,996	7,000			
		(b)予算現額	6,996	7,000			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	6,996	7,000			
	B.執行済額		6,875	6,930			
	うち交付金充当額		5,500	5,544			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		98.3%	99.0%			
予算の状況の説明		・執行残については委託の契約額残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	・墓地基本計画の策定完了	目 標	基本計画策定				
		実 績	策定完了				
	墓地整備計画の策定完了	目 標		整備計画の策定			
		実 績		策定完了			
	達成 状 況 説 明	・墓地基本計画を元に整備計画を策定した。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (4年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	・墓地整備計画の策定完了	目 標		基本計画策定			
		実 績		策定完了			
	墓地整備計画の策定完了	目 標			整備計画策定		
		実 績			策定完了		
	進 捗 状 況 説 明	・墓地に関する各種アンケート調査並びに各区長への説明会を通じて各区へのフィードバックを行いながら、整備計画を策定した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(各集落のニーズ調査・計画) ・狭小な面積である本村においては、本事業をきっかけに、墓地新築の際に散在化を防止することに加えて、島外出身者が移住を決意した際に、斡旋が可能な状況を維持することで、用地の確保がスムーズに行われるよう配慮する必要がある。 ・集団墓地化に向けて墓の移築や村内で墓の新築を検討、希望している対象者に対して「納骨堂」でも対応可能な計画として推進する。	(各集落のニーズ調査・計画) ・散在化の防止を図る上で、各区長との意見交換や墓地の新設等を検討する方々へ「納骨堂」の案内等、各関係機関が密となって集団墓地化または納骨堂の整備に向けて推進していく。 ・本村の火葬場敷地内を活用して、納骨堂の建設に向けた検討委員会を設置し、各関係機関と協議を行い施設整備を推進する。
今後の取り組み方針		
(各集落のニーズ調査・計画) ・基本計画の概要版を基に、各区で開催される「行政懇談会」等において計画の内容を説明し、住民に理解を求めていく。また、区長会から確認できなかった意見についても実施計画に盛り込むことで、村民が目指す村内の「お墓事情」に寄り添った事業を運営していく。その他、整備計画において集団墓地化と納骨堂同整備を推進するため事業立案を図り検討していく。		

伊平屋村

6, 930千円

委託費

6, 930千円

株式会社 沖縄チャンドラー

6, 930千円

基地整備計画策定業務委託

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,930	6,930	5,544	1,386	0

資金の用途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は県内で同様の実務実績のある業者5者より見積もりを徴し(1者辞退)、最低価格業者と委託契約を締結していることから妥当であったと考えている。 ○予算規模は見積り比較による予算減となったため、事業内容に資する適正規模と判断した。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4－⑤	商福連携環境整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－(11)－ア 雇用機会の確保と多様な人材の活躍推進		
担当部課名	企画財政課	事業実施 （予定）年度	令和５年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－2		
事業内容	地域住民や移住・定住者等の起業支援策として、多用途に使用可能な特産品の生産、製造拠点を整備し、産業の育成による雇用の場を創出する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	20,900					
		(b) 予算現額	58,669					
		(c) 増減額 (b－a)	37,769					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	58,669					
	B. 執行済額		56,600					
	うち交付金充当額		45,279					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		96.5%					
予算の状況の説明		当初、既存施設のトイレ1カ所を洋式トイレに改修する計画であったが、衛生面を考慮し、各店舗に専用トイレを設置することとした。また、障がい者雇用の観点から車椅子利用に配慮したスロープを新設する必要があったため、第1回変更申請にて35,700千円を増額した。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	多用途活用施設の機能強化	目 標	（ 機能強化整備 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	整備完了					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
達成 状 況 説 明	当初計画どおり特産品製造・販売を目的とした多用途施設の機能を強化し、新規起業3社が入居した。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ R4年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 （ R5年度）	
	村内入域観光客数	目 標	（ 18,044人 ）	（ 18,044人 ）	（ ）	（ ）	（ 18,044 ）	
		実 績		22,360人				
	心身的弱者の延べ就労数	目 標	（ 4名 ）	（ 4名 ）	（ ）	（ ）	（ 4名 ）	
		実 績		4名				
	進 捗 状 況 説 明	・計画どおり入域観光客数18,044人以上を達成した。 ・心身的弱者（障がい者）の延べ雇用人数について、入居企業と連携した就業環境整備により4名の雇用人数を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(入域観光客数) コロナ禍後の観光需要の一因として、村で初となる海外クルーズ船が寄港したことによる特産品の開発やインバウンドに向けた商品パッケージ開発などによりPRイベント等を等して入域観光客数の増が、目標達成の要因と考えられる。	(入域観光客数) 今後もクルーズ船の寄港が想定されること等を踏まえ、インバウンド向け商品パッケージの開発やPRイベント等を通して事業の推進と浸透を図っていく。
	(心身的弱者の延べ就労数) 新たな雇用機会創出のため製造拠点の整備をしたことにより、入居企業が決定し心身的弱者の雇用の創出に繋がったことが目標達成の要因と考えられる。今後も更なる雇用基盤の強化に向けて、支援策を講じる必要がある。	(心身的弱者の延べ就労数) 関係支援団体や既存企業を含めた協議体を設置するとともに、各種研修会やインターンシップ制度を確立し、事業の啓発を図ることで、さらなる参画者の誘発を目指す。
今後の取り組み方針		
(入域観光客数) 多様な観光ニーズに対応し、食や観光サービスの充実によるリピート率の向上を目指し、特産品や商品パッケージの開発とPRイベント等の取組を強化する。 (心身的弱者の延べ就労数) インターンシップ制度の確立に向け参画企業向けの説明会を実施するとともに、自立支援センターの人材育成と潜在的な対象者に向けた就業相談会を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
伊平屋村 56,600千円 委託料 3,953千円 (有)創建設計事務所 1,859千円 (有)創建設計事務所 2,094千円 商福連携拠点施設環境整備 工事実施設計業務 商福連携拠点施設環境整備 工事監理業務委託 工事請負費 52,647千円 沖縄三菱電機販売(株) 52,647千円 伊平屋村商福連携拠点施設 環境整備工事 <table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>56,600</td><td>56,600</td><td>45,279</td><td>11,321</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	56,600	56,600	45,279	11,321	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
56,600	56,600	45,279	11,321	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○実施設計及び工事請負は指名競争入れを実施し、監理委託業務においては設計と合わせて監理するため随意契約理由により整理したため妥当である。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												